

SOLAN IMPACT

自分の学びは自分でつくる

算数の時間が終わったあと、ある子どもが私のところにやってきて、「来週から小数のかけ算が始まるから、復習をしたいのでプリントをもらえませんか？」と声をかけてくれました。
その後、一緒に復習のポイントを確認しながら、4年生の内容を振り返るプリントを渡しました。

自分の課題を見つけ、それに向き合おうとする姿に、とても頼もしさを感じました。
学びは、誰かに言われてやるものではなく、自ら築いていくものです。
「自分のために学ぼう」という気持ちは、確かな成長の証だと感じています。

5年生からは、学習の進め方が少しずつ変わっていきます。
授業では、知識や技能の「習得」よりも、それをどう「活用」し、「探究」へとつなげていくかに重点が置かれるようになっていきます。
そのため、知識や技能の定着に必要な演習や復習は、家庭学習や朝の「マイタイム」、休み時間など、授業以外の時間を活用して、自分から進めていくことが大切になってきます。

先日の学年通信でもお伝えしましたが、5年生では家庭学習を含む自主学習の充実を目指しています。
「自立し、自律した学習者」を育てるためには、「自分の学び」を自分でつくる時間が欠かせません。

私たち教師も、子どもたちが自分の課題に気づき、それに取り組みながら学びを深めていけるよう、日々の姿に寄り添い、必要な支えや環境を整えていきたいと考えています。
授業の中でも、子どもたちにとって必要な課題は、こちらからも積極的に提案していくつもりです。

一人ひとりが「自分の学び」に責任を持ち、「学んで楽しい」と感じられる。
そんな学年を子どもたちとともにつくっていきたいと思います。

避難訓練(地震)を行いました

5月22日(水)に、地震を想定した避難訓練を実施しました。
本校では防災用のヘルメットを整備し、子どもたち一人ひとりに配付しています。
4月に行った火災を想定した避難訓練と同様に、今回の訓練でも、真剣に取り組む5年生の姿が見られ、とても頼もしく感じました。

いつ起こるかわからない災害に備え、学校としても引き続き、万全の体制を整えてまいります。

